

英語キャンペーンプログラムが 遺愛中学生対象に行われました。

8月4日から2日間、中学生対象の高円宮杯英語弁論大会などを企画・運営している日本学生協会（JNSA）基金が主催の英語キャンペーンプログラムが遺愛アリーナで行われました。

毎年、夏に同基金のメンバーの大学生が外国人留学生含めて30名以上、全国の中学校を訪れて行っているものです。遺愛には昨年来る予定でしたが、新型コロナのために今年に延期、しかし今年もコロナが引き続きまん延しているため、首都圏の大学に通う学生20名がオンラインでzoomを通して遺愛女子中学生66名と交流して下さいました。

イベントでは、人気探偵アニメのキャラクターになった大学生と一緒に英語を交えて事情聴取したり、指定された英単語が書かれた紙を探すゲームも行われました。大学生から英語を学ぶコツも教わりました。

終了後、生徒にアンケートを取ったところ、「楽しく英語を学ぶことができました。」「初めて大学生と話したけれどみなさんがとってもフレンドリーにやさしく教えてくれたので楽しめました。」「わたしも弁論大会に出てみようと思いました。」「私もJNのメンバーになれるように頑張ります。」などと書かれていました。

本来は学生さんがこちらに来て、いろいろ準備をし指導して下さいますが、学生さんが来られないので、遺愛中学出身の遺愛高校生がボランティアでお手伝いしてくれました。今回の企画の遺愛側の中心だった小阪先生は「高校生が、会場設営、デバイス類の接続、機器トラブルの対応、中学生たちへサポートや声がけといった献身的な働きをしてくれました。この支えがなくては決して成り立たなかったと思います。こうした先輩の姿からも、中学生のみなさんは学ぶものが大きかったのではないかと思います。」と語っていました。読売、道新、函新が取材に来て下さいました。

2021年8月6日（金）

読売新聞

北海道新聞

函館新聞

